

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 高須 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的
- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容
- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
☐ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

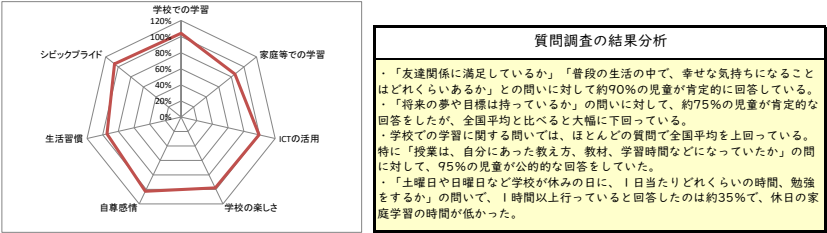
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	話すこと、聞くことを問う問題は全て全国平均を上回っている。 言葉の特徴や使い方に関する問題は全て全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる問題。	
	努力が必要な問題	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。	
算数	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の領域に関係なく、思考・判断・表現を問う問題で、正答率が低く、無回答率も高い傾向にある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	立方体の見取図について理解し、書くことができるかどうかをみる問題。	
	努力が必要な問題	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

- ☐ 国語科では、小学校の既習漢字の書き取りを中心とした取り組みを行っていく。

☐ 算数科では、苦手分野を中心とした総復習を行っていく。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ☐ 今後も、引き続き栄養教諭を中心とし、食育週間や食育に関する取り組みを続けていき、食の大切さを伝えていく。また、養護教諭を中心とし、健康指導を通じて、規則正しい生活習慣が身につくように指導していく。また、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活習慣が規則正しく身に付くように、保健だよりや食育だよりを通じて理解と協力を求めていく。